

平成24年度  
台東区観光統計・マーケティング調査

報 告 書

平成25年3月  
台東区

## 目 次

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 第1章 観光統計調査の目的等                | 1   |
| 1-1 観光を取り巻く状況                 | 1   |
| (1) 日本の観光を取り巻く状況              | 1   |
| (2) 台東区の観光を取り巻く状況             | 3   |
| 1-2 観光統計調査の概要                 | 4   |
| (1) 観光統計調査の目的                 | 4   |
| (2) 観光統計調査の対象                 | 4   |
| (3) 調査内容                      | 5   |
| 第2章 観光統計調査の実施方法及び調査結果         | 13  |
| 2-1 調査結果概要                    | 13  |
| (1) 平成24年の観光入込客数・観光消費額等       | 13  |
| (2) 観光入込客数の推計                 | 14  |
| (3) マーケティング分析結果の概要            | 22  |
| (4) 前回調査結果との比較                | 22  |
| 2-2 調査結果                      | 24  |
| (1) 観光入込客数の推計                 | 24  |
| (2) 参考推計①：観光・文化施設来場者数からの推計    | 41  |
| (3) 参考推計②：鉄道駅における年間利用者数からの推計  | 44  |
| (4) マーケティング分析                 | 48  |
| 資料編                           | 59  |
| 資-1 来訪者アンケート（パラメータ調査票の集計結果より） | 59  |
| 資-2 宿泊施設利用者動向調査               | 80  |
| 資-3 施設調査                      | 92  |
| 資-4 アンケート（パラメータ）調査票           | 96  |
| 資-5 宿泊施設利用者動向調査票              | 107 |
| 資-6 施設調査票                     | 117 |

## 第1章 観光統計調査の目的等

### 1-1. 観光を取り巻く状況

#### (1) 日本の観光を取り巻く状況

##### 観光統計整備の動き

現在、我が国では、訪日外国人旅行者を将来的に 3,000 万人とし、2016 年までに 1,800 万人にする目標を掲げ、官民一体となって「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を展開する等、観光立国の実現に向けた様々な政策を進めているところである。

観光は、単なる余暇活動の一環ではなく、人々の生きがいや安らぎを生み出し、ゆとりと  
うるおいのある生活に寄与し、また、日常生活圏を離れて多角的な交流・触れ合いの機会を  
もたらし、人と人の絆を強めるものである。また、地域が観光振興のために地域固有の文化  
や伝統の保持・発展を図り、魅力ある地域づくりを行うことは、アイデンティティを確保し、  
地域の連帯を強め、地域住民が誇りと生きがいをもって生活していくための基盤ともなるも  
のである。さらに、観光産業は単に旅行業や宿泊業のみならず広汎な分野と密接に関係する  
裾野の広い産業であり、その経済規模の大きさから我が国にとって重要な経済的役割を果た  
している。

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定され  
た観光立国推進基本法（平成 18 年法律第 117 号）において、国は観光に関する統計の整備  
に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本法に基づき策定された観光立国推進基本計画（平成 19 年 6 月 29  
日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計に  
ついて、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準」  
が示された。

この共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」につい  
て、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互  
に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

共通基準に基づく観光入込客統計が開始されたことで、地域間で観光に関する現状や動向  
を比較することができるようになったほか、各地域において観光振興に関する戦略や施策を  
立案する際の基礎として活用していくことが可能となった。

## 訪日外国人旅行者の動向

我が国の経済社会発展に向けて「観光立国の実現」は国家的課題となっており、観光立国推進基本法の制定（平成 18 年 12 月）や観光立国推進基本計画の閣議決定（平成 19 年 6 月）を経て、平成 20 年 10 月に観光庁が発足された。その後、近年の情勢の変化を踏まえ、平成 24 年 3 月 30 日には新たな観光立国推進基本計画が閣議決定されている。

平成 15 年度より取り組んできた「ビジット・ジャパン・キャンペーン」により、我が国への訪日外国人旅行者数は着実な増加をみせていたが、平成 20 年のリーマン・ショック、新型インフルエンザ等による影響で平成 21 年には一旦減少した。その後は、平成 22 年に再び増加に転じた。また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災と福島第一原発事故による落ち込みがみられたが、持ち直しの兆しがみられ始めている。

図 1 訪日外国人旅行者数の推移

資料：平成 24 年観光白書

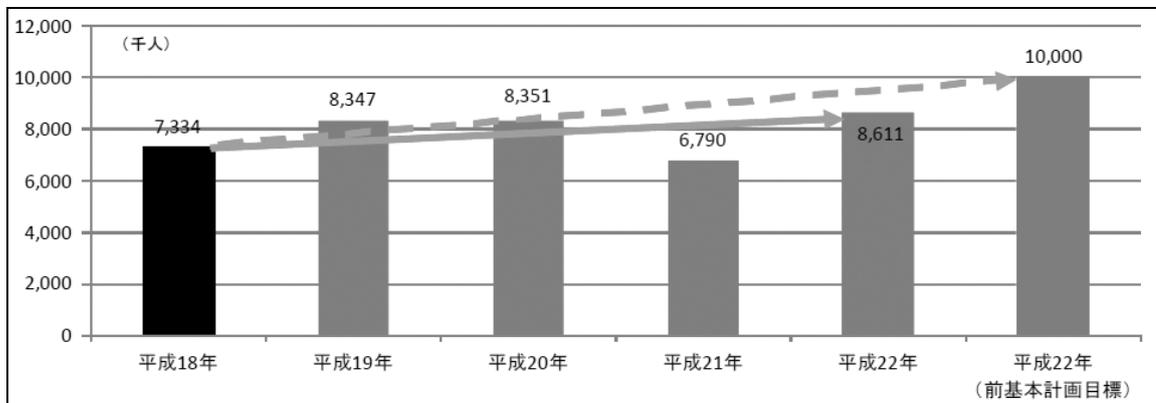


表 1 月別述べ宿泊者数と実宿泊者数の推移

資料：観光庁宿泊旅行統計調査（平成 23 年）

（単位：万人泊、万人）

| 月別   | 延べ宿泊者数 |        | うち外国人  |                     |                     | 実宿泊者数 | うち外国人        |  |
|------|--------|--------|--------|---------------------|---------------------|-------|--------------|--|
|      | 前年比    |        | 前年比    | (シェア) <sup>1)</sup> | (シェア) <sup>2)</sup> |       |              |  |
| 年間合計 | -      | 41,723 | -      | 1,842 (4.4%)        | 31,218              | -     | 1,136 (3.6%) |  |
| 1月   | -      | 3,091  | -      | 206 (6.7%)          | 2,328               | -     | 127 (5.4%)   |  |
| 2月   | -      | 3,215  | -      | 222 (6.9%)          | 2,423               | -     | 139 (5.7%)   |  |
| 3月   | -      | 2,931  | -      | 113 (3.8%)          | 2,165               | -     | 66 (3.1%)    |  |
| 4月   | -16.1% | 2,650  | -81.3% | 53 (2.0%)           | 1,944               | -     | 32 (1.6%)    |  |
| 5月   | -9.0%  | 3,349  | -63.9% | 83 (2.5%)           | 2,498               | -     | 52 (2.1%)    |  |
| 6月   | -3.1%  | 3,092  | -44.6% | 117 (3.8%)          | 2,299               | -     | 72 (3.1%)    |  |
| 7月   | 0.8%   | 3,804  | -40.1% | 168 (4.4%)          | 2,825               | -     | 105 (3.7%)   |  |
| 8月   | 2.7%   | 5,146  | -37.2% | 163 (3.2%)          | 3,774               | -     | 103 (2.7%)   |  |
| 9月   | 4.2%   | 3,675  | -27.8% | 156 (4.2%)          | 2,746               | -     | 94 (3.4%)    |  |
| 10月  | 0.6%   | 3,810  | -19.9% | 197 (5.2%)          | 2,913               | -     | 121 (4.2%)   |  |
| 11月  | 1.8%   | 3,554  | -16.3% | 181 (5.1%)          | 2,734               | -     | 113 (4.1%)   |  |
| 12月  | 5.4%   | 3,407  | -12.8% | 183 (5.4%)          | 2,570               | -     | 112 (4.4%)   |  |

1) 延べ宿泊者数に占める外国人延べ宿泊者数の比率

2) 実宿泊者数に占める外国人実宿泊者数の比率

3) 平成22年第2四半期の調査より、調査対象を従業者数9人以下を含む全宿泊施設に拡充した。

## (2) 台東区の観光を取り巻く状況

### 台東区の観光を取り巻く状況の変化

我が国における観光は、平成 23 年 3 月の東日本大震災による消費の落ち込み、風評被害、外国人観光客の減少など厳しい状況にあった。特に、外国人来訪者は震災及び福島第一原発事故の影響、円高の進行等により大きく減少し、台東区においても大きな影響があった。

一方、羽田空港の再国際化、成田空港へのアクセス向上は外国人来訪者を受け入れる良い条件となった。

平成 23 年 2 月、ジャイアント・パンダの再来園は多くの観光客が訪れ、同年度の上野動物公園の年間来園者数は 400 万人を超える盛況となったほか、ツタンカーメン展など、各美術館・博物館の企画展等の人気により上野公園内文化施設の年間（平成 24 年）来場者が増加した。

また、平成 24 年 5 月、隣接する墨田区に東京スカイツリーが開業し、平成 25 年 3 月で、商業施設を含む東京スカイツリータウン全体の来場者が 4,400 万人を越すなど、本区に関わる観光要因、観光機会も向上し、特に浅草地区への来訪者が増加した。



— 東京スカイツリー —



— ジャイアント・パンダ —

## 1-2. 観光統計調査の概要

### (1) 観光統計調査の目的

#### 観光統計調査の目的

平成 22 年 3 月に策定した「台東区新観光ビジョン」では台東区観光の目標とする姿を『本物に会えるまち』とし、台東区が持っている魅力の向上、にぎわいの創出を目指している。このビジョンでは、86 の事業からなるアクションプランを示し、戦略的な展開により、平成 26 年の年間観光客数の目標数値を 5,000 万人と掲げている。

本調査は、本区への誘客促進及び今後の観光ルート開発等に関する観光都市づくりの施策展開に資することを目的に観光統計の整備と、観光客のマーケティング分析を行い、今後の観光施策における基礎資料とするものである。

### (2) 観光統計調査の対象

#### 調査期間

本調査における観光入込客数は、共通基準及び前回の調査と同様に、「年度」ではなく「暦年」による観光入込客数等の推計を行った。そのため、調査の対象期間は、平成 24 年 1 月から平成 24 年 12 月までの 1 年間とした。

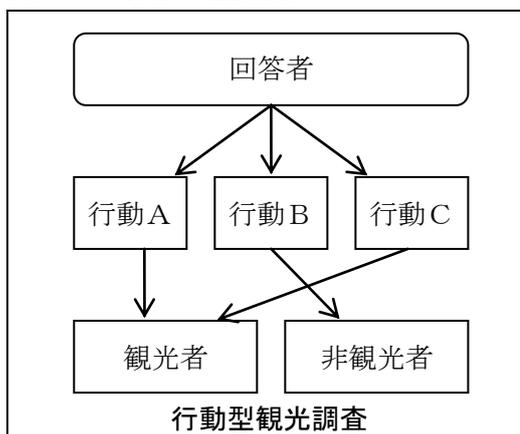
#### 観光の定義

観光政策審議会の答申「今後の観光政策の基本的な方向について」（答申第 39 号 平成 7 年 6 月 2 日）では『観光』の定義を『余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目的とするもの』としている。

本調査では、前回の調査と整合させるために、観光行動の定義を「広義」「狭義」とした区分をせず、「ホスピタリティ産業に貢献するすべての非日常的行為」を『観光』と捉え、買い物や食事の他にも仕事のついでに「仕事兼観光」も観光として扱うこととした。

そのため、調査の手法としても、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準、調査要領」を踏まえ、目的行動による観光の「該当」「非該当」を区別する『行動型観光調査』によるアンケートを実施した。

図 2 行動型観光調査



## 調査対象地区

本調査の対象地区としては、前回調査と同様の調査を実施できるように配慮し、「上野地区」「浅草地区」「谷中地区」「浅草橋地区」の4地区に大別し、さらに上野地区では「上野」と「御徒町（アメ横）」に区分して調査を実施した。

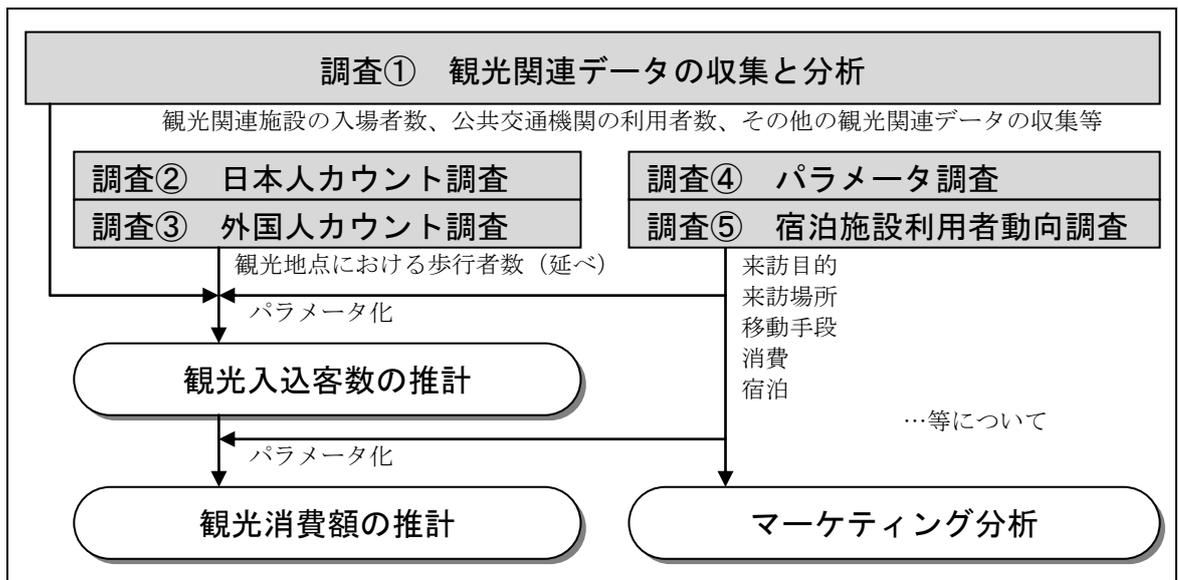
### (3) 調査内容

#### 観光統計調査

観光客数等の推計においては、「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年 観光庁策定）を基本として、各種統計資料や今回の調査で実施して把握したパラメータの設定により、平成24年1月～同年12月の観光客数の推計を行った。

なお、調査の実施と併せて観光客へのアンケートを実施することで、観光客の意向を把握し、マーケティング分析に必要な基礎データを収集した。

図3 調査フロー



## 調査① 観光関連データの収集

本調査では、観光入込客数の推計等を行うにあたり、前回調査と同様に、以下のデータ収集を行った。

### a) 文化・観光施設の年間来場者数

国、東京都、台東区、民間が所有する区内の主要な文化・観光施設に対して、調査票を配布し、平成 24 年 1 月から平成 24 年 12 月までの年間来場者数を調査し、41 施設中 33 施設からの回答が得られた。

### b) 区内宿泊施設の年間利用者数

区内のホテル、旅館、簡易宿所等の宿泊施設に対して、調査票を配布し、平成 24 年 1 月から平成 24 年 12 月までの総年間宿泊者数と内数としての外国人宿泊者数を調査し、86 施設中 41 施設からの回答が得られた。

### c) 鉄道等の年間乗降者数

「関東交通広告協議会」及び「大都市交通センサス」等の統計資料をもとに、東京メトロ（銀座線、日比谷線）、つくばエクスプレス、都営地下鉄（浅草線、大江戸線）、東武鉄道（東武スカイツリーライン）、京成電鉄（成田スカイアクセス線）の乗降客数のデータを収集した。

また、東京都観光汽船（浅草乗船場）の乗船者数のデータを収集した。

### d) 観光イベントの年間来場者数

区内の代表的（寺社祭事を含む）で、区外からの来訪者が多いイベントに着目し、主催者発表のデータを収集した。

### e) その他の関連施設利用者数

上野恩賜公園駐車場等の観光入込客数推計に関連する施設の年間利用者数等のデータを収集した。

**調査② 日本人カウント調査**

観光入込客数の推計を行うための基礎データとして、4地区 15 か所での歩行者数を計測した。

調査日は各地区でイベント等が行われてない日を選択し、平常時の歩行者カウント調査を実施した。

調査地点、調査実施時期については、下表のとおりである。

なお、調査時間帯は、上野地区で 10：00～18：00、浅草地区で 9：00～17：00、谷中地区で 9：00～17：00、浅草橋地区で 9：00～17：00 として実施した。

※上野地区については、通勤・通学客が多いことから、調査時間帯を 1 時間遅らせた。

**表 2 調査実施時期**

|                | 第 1 四半期     | 第 2 四半期     | 第 3 四半期     | 第 4 四半期      |
|----------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 調査日            | 1 月 22 日(日) | 6 月 10 日(日) | 9 月 12 日(水) | 12 月 12 日(水) |
|                | 1 月 24 日(火) | 6 月 12 日(火) | 9 月 16 日(日) | 12 月 16 日(日) |
| <b>上野地区</b>    |             |             |             |              |
| J R 上野駅公園口前    | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 上野公園袴越         | ○           | ○           | ○           | ○            |
| アメ横上野側         | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 御徒町昭和通方向       |             | ○           | ○           | ○            |
| <b>浅草地区</b>    |             |             |             |              |
| 雷門前            | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 浅草寺二天門         | ○           | ○           | ○           | ○            |
| T X 浅草駅出口      | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 新仲見世商店街東側入口    | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 吾妻橋東詰          | ○           |             |             |              |
| 吾妻橋西詰          | ○           | ○           | ○           | ○            |
| 都営地下鉄浅草駅出口     |             | ○           | ○           | ○            |
| <b>谷中地区</b>    |             |             |             |              |
| 谷中銀座入り口        |             | ○           | ○           | ○            |
| 上野桜木交差点        |             | ○           | ○           | ○            |
| 東京メトロ千代田線根津駅付近 |             | ○           |             | ○            |
| <b>浅草橋地区</b>   |             |             |             |              |
| J R 浅草橋駅東口     |             |             | ○           |              |

**調査③ 外国人カウント調査**

外国人観光入込客数の推計を行うための基礎データとして、2地区3か所での歩行者数を計測した。あわせて、ヒアリングマップ（世界地図 12 ページ参照）を用いながら、来訪者の居住国（圏域）をヒアリング等により確認した。

調査日は各地区でイベント等が行われてない日を選択し、平常時の歩行者カウント調査を実施した。

調査地点、調査実施時期については、表3のとおりであり、調査時間帯は日本人カウント調査と同様である。

**表 3 調査実施時期**

|             | 第1四半期 | 第2四半期    | 第3四半期    | 第4四半期 |
|-------------|-------|----------|----------|-------|
| <b>調査日</b>  | —     | 6月10日(日) | 9月12日(水) | —     |
| <b>調査地点</b> |       | 6月12日(火) | 9月16日(日) |       |
| <b>上野地区</b> |       |          |          |       |
| アメ横上野側      |       | ○        | ○        |       |
| 上野公園（案内所付近） |       | ○        | ○        |       |
| <b>浅草地区</b> |       |          |          |       |
| 浅草寺宝蔵門前     |       | ○        | ○        |       |

**図 4 ヒアリングマップ（世界地図）を使った来訪者の居住国確認の様子**



調査④ パラメータ調査（来訪者アンケート調査）

観光入込客数の推計を行うためのパラメータ※を構築するため、歩行者カウント調査とあわせてアンケート調査を4地区8か所で実施した。アンケート調査では、来訪者に対してアンケート調査票を配布し、その場での聞き取り及び回収を行った。なお、回答者の負担軽減として、郵送回収用の封筒を配布するなど、時間的余裕のない方への対応も図れるように実施した。

調査地点、調査実施時期等については、下表のとおりであり、郵送回収を含めて2,119票のサンプルが回収できた。

表 4 調査実施時期

|             | 第1四半期 | 第2四半期    | 第3四半期    | 第4四半期 |
|-------------|-------|----------|----------|-------|
| 調査日         | —     | 6月10日(日) | 9月12日(水) | —     |
| 調査地点        |       | 6月12日(火) | 9月16日(日) |       |
| 上野地区        |       |          |          |       |
| アメ横上野側      |       | ○        | ○        |       |
| 上野公園（案内所付近） |       | ○        | ○        |       |
| 下町風俗資料館前    |       | ○        | ○        |       |
| 浅草地区        |       |          |          |       |
| 浅草寺宝蔵門前     |       | ○        | ○        |       |
| 浅草六区        |       | ○        | ○        |       |
| 谷中地区        |       |          |          |       |
| 谷中銀座        |       | ○        |          |       |
| 上野桜木交差点     |       | ○        |          |       |
| 浅草地区        |       |          |          |       |
| J R 浅草橋駅東口  |       |          | ○        |       |

※パラメータとは「変数」のことであり、本調査では来訪者アンケート調査等により任意の事象の割合を数値化することで推計根拠に用いている。

#### 調査⑤ 宿泊施設利用者動向調査

台東区内の宿泊施設利用者の実態を把握するため、上野ホテル旅館組合、浅草ホテル旅館組合、上野公園旅館組合、城北旅館組合の加盟宿泊施設と、非加盟宿泊施設に依頼し、宿泊者へのアンケート調査票の配布と回収に協力を頂いた。

86 施設中 30 施設の協力を頂き、1,109 票を配布し、132 票（回収率：11.9%）の回収が得られた。

#### 観光入込客数の推計

前述の調査①～調査⑤の実施結果により構築したデータをもとに、観光入込客数を地区ごとに推計するとともに、宿泊者数についても同様に推計を行った。

推計に当たっては、前述の『行動型観光調査』の考え方に基づいて、アンケート調査による結果を踏まえたパラメータ設定を行い、歩行者カウント調査結果を踏まえた観光入込客数等を推計した。

具体的な手順等については、次章で整理する。

#### 観光消費額の推計

前述の観光入込客数の推計結果を踏まえて、アンケート調査結果から得られた来訪者の消費動向から消費額を整理し、観光消費額の推計を行った。

具体的な手順等については、次章で整理する。

#### マーケティング分析

台東区への来訪者の行動実態やニーズを把握し、台東区の魅力を構成する要因を明らかにするため、マーケティング分析を行った。

マーケティング分析では、来訪者の選好を把握することが重要であることから、来訪者へのアンケート調査が有効であるため、前述のアンケート調査において分析に必要な設問を併記することで実施した。

また、平成 24 年 5 月 22 日に開業した「東京スカイツリー」の本区への影響を把握するため、本区への来訪者の立ち寄り状況等を分析した。

図 5 調査箇所位置図

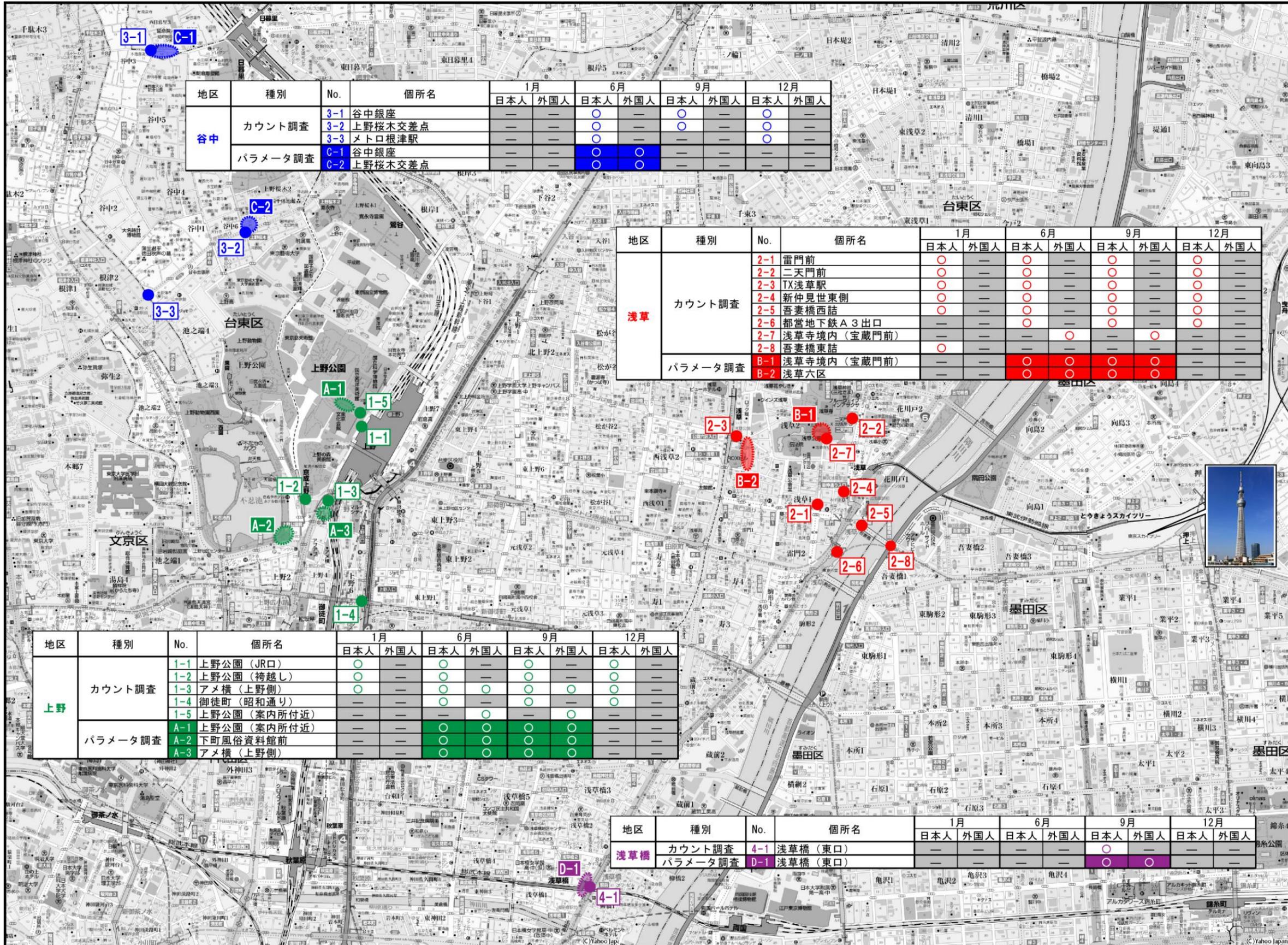
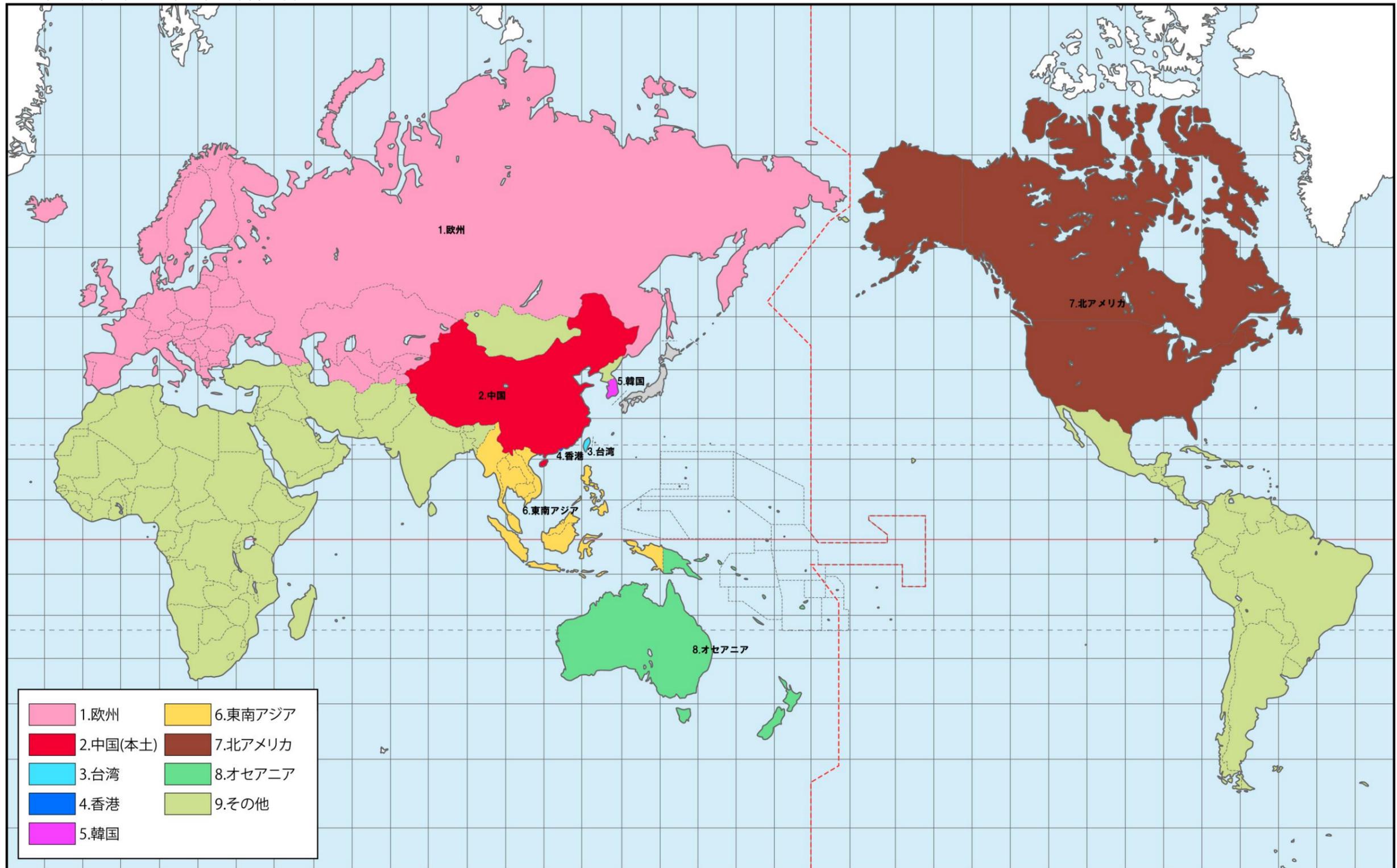


図 6 外国人カウント調査用ヒアリングマップ

Questionnaire about sightseeing / 관광에 관한 앙케이트  
关于旅游的询问调查 / 關於旅遊的詢問調查

Q Where is the country of residence? / 거주국은 어디입니까?  
住址国在哪里? / 住址國在哪裡?



Taito City / 다이토쿠 / 台东区 / 台東區